

## ■ 県内分布

強い波浪を受ける海岸には比較的ふつうにみられる。

## ■ 国内分布

太平洋沿岸千葉県から高知県の間、日本海側沿岸福岡県から石川県の間

## ■ 選定理由

人為性		特殊性	学術性
生育環境破壊	○	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取		特異な生態	分布の限界
			希少

## ■ 特記事項

岩礁帯藻場の生態学的重要種。

## ■ 保護上の留意点

群落の維持に努めるよう配慮する必要がある。

## ■ 種の概要

茎は円柱形で、直径1.5mmとなり、分枝しながら岩面をはい、その腹面のあちこちから盤状の付着器ができて、基物に固着する。後に付着器は相互に癒着して不規則な形の盤を形成する。主枝は茎の背面から直立し、長さ70cmまでになり、扁圧するか2稜形で幅3mmあり、縁辺は平滑である。側枝は短い。葉は短い扁平な柄を持ち、楕円形から広披針形であり頂端は尖らず、基部は楔形になる。縁辺は全縁で、長さ25mm、幅10mmまでになる。葉はやや厚く質は硬くて、色は濃い。中肋は埋在する。葉序は1/2で互生である。小さい冠葉は基部が気胞の側面にまでのびて、翼ようになる。雌雄異株。春から初夏にかけて成熟する。



写真提供：川井浩史